

つまずきの解消に向けて、 県教委作成の資料を効果的に活用しよう！

本日付で、各学校に「学力定着状況たしかめテストの結果」が返却され、「分析支援ツール」も市町村教育委員会から配付されたと思います。直ちに本ツールを用いて、自校の課題の明確化を図りましょう。

その際、国語・数学の教科担当任せにせずに、自校の生徒が「どこで」「どのように」「なぜ」間違えたのかをきちんと把握した上で、県教委作成の資料を活用して、学校全体でつまずき解消に向けての取組を徹底することが重要です。

必見

平成28年度 学力定着状況たしかめテストの結果を踏まえた

活用に関する問題の解説例

～全国学力・学習状況調査B問題へのアプローチ～

学力調査のB問題には部分点はありませぬ。必要な条件を全て満たして解答しなければ正答になりませんが、多くの子どもたちは、知識を活用する以前に、問題に書かれている正答の条件を読み取ることにつまずいていると言えます。

■初見の文章に対応できる力を付けましょう。

高校入試でも求められる初見の文章に対応できる力を付けるためには、問題文に目を通してから、目的に合った読み方をさせることが重要です。問題文を読みながら、大切だと思われる箇所に線を引いたり、余白を活用して計算したりする習慣を付ける指導をする必要があります。

■誤答と正答の間を埋め、正答へ導きましょう。

生徒の誤答を基に「どこで」「どのように」「なぜ」間違えたのかを、教師が明確に示しながら学級全体で確認をし、何をどのように加筆・修正等をすれば正答になるかを解説します。

■独りで解ききれる力を付けましょう。

学級全体で確認した問題を、独りで解ききれるかどうかを確認します。学習到達度確認テストやふりかえりプリント等を活用しながら、適宜、定着ができていいるかどうかを確認します。このサイクルは、B問題だけでなく、基礎基本の問題においても効果的な取組です。

確かな学力を育てるために

学びのチャレンジコンテンツ

ニコニコチャレンジ、ハイチャレンジ、チームチャレンジ、モアチャレンジなど個人でがんばるものから、グループなどで協力しながら取り組むものまで、いろいろな形で挑戦できます。

【中学校】

- 基礎的な学習内容の定着を図りたいとき
(国語・数学・英語)
・中学校国語たしかめトライシート(基礎プリント)
・中学校数学たしかめトライシート(基礎プリント)
・中学校英語たしかめトライシート(基礎プリント)
- 活学力の向上を図りたいとき
(国語・社会・理科)
・学習到達度確認テスト(中学校)
【岡山県総合教育センターe研修所おかやまへ】
(数学)
・学習到達度確認テスト(中学校数学)
- 調査問題の復習や休業中の課題として取り組みたいとき
(国語・数学)
・調査問題を活用した課題集(春チャレンジ)
(数学)
・学習到達度確認テストを活用した冬休みの課題集(冬チャレンジ)

【小学校】

- 基礎的な学習内容の定着を図りたいとき
(国語・算数)

「たしかめテストの結果で細かいことを言っても・・・」という意識を変え、きめ細かにつまずき解消の取組を進めないと、4月の全国学力・学習状況調査の結果で自信を失うのは生徒です。

本テストの誤答をしっかりと分析し、生徒一人一人のつまずきを明らかにした上で、正しい知識を身に付けさせるに当たって、3学期中にどのような手立てが講じられるかを考えて、学校全体で指導に当たる体制を構築することが必要です。その際、宿題を「提出していれば安心」という提出率重視の評価方法を改め、つまずきを解消するために、授業と家庭学習をどのようにつなぐかという視点から宿題の在り方について見直しを図ることが大切です。その結果として、家庭学習時間の増加に結び付ける取組を推進しましょう。



岡山県マスコット「ももっち」